

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0302005

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15 環境の保全	事業優先度	C	
単位施策	3 景観形成・環境美化・公害防止の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町有施設解体工事業	見直し年度	平成24年度	
事業期間	平成21年度～平成24年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	町有施設解体工事		#N/A	
事業目標	解体工事7件	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	○町有施設解体工事 旧オホーツクスキー場ロッジ・車庫解体工事 旧浴場解体工事 旧寡婦住宅・職員住宅解体工事 旧幌内保育所解体工事 日の出仲町職員住宅解体工事(1戸) 日の出北町職員住宅解体工事(1戸) 町有住宅解体工事(1戸)		旧浴場解体工事	旧寡婦住宅・職員住宅解体工事	旧オホーツクスキー場 ロッジ解体工事 車庫解体工事 旧幌内保育所解体工事	日の出仲町職員住宅解体工事(1戸) 日の出北町職員住宅解体工事(1戸) 町有住宅解体工事(1戸)
計 画 事 業 費	事業費(千円)	30,338	0	10,248	5,100	10,700
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	30,338		10,248	5,100	10,700
実 績 事 業 費	事業費(千円)	29,939	0	10,248	5,053	10,448
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	10,248		10,248		
	一般財源	19,691			5,053	10,448
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 【評価・実績】	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) 旧浴場解体工事 10,248千円 ※前年度評価結果	(実施内容等) 町有施設(旧寡婦住宅・職員住宅)解体工事 5,053千円 旧寡婦住宅 1棟4戸 職員住宅 1棟2戸 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 旧オホーツクスキー場 ロッジ・車庫解体工事 8,033千円 旧幌内保育所解体工事 2,415千円 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 町有住宅・職員住宅解体工事 4,190千円 日の出仲町職員住宅 1戸 日の出北町職員住宅 1戸 町有住宅 1戸 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値 年度達成率 全体達成率 事業進捗状況	#DIV/0! 0%	解体工事 1件 100% 34%	解体工事 2件 99% 50%	解体工事 1件 98% 85%
			☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名 町有施設解体工事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	淡路至尊
	評価者 作成者 職氏名	管財係長	花松賢一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	職員住宅、町有住宅	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	老朽施設の解体
【抱える課題やニーズは】	老朽施設の解体	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	景観形成及び環境美化	① 町有住宅・職員住宅解体工事	目標年度 平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	景観形成及び環境美化		目標値 3戸
			実績値 3戸
			達成度 100.0%
		②	目標年度 年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	町有住宅・職員住宅解体工事	町有住宅1戸、職員住宅2戸を解体した。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	経年による老朽化が進み、長期間利用のない、大規模な改修を必要とする施設であることから景観形成及び環境美化を図るためにも解体する必要があると判断する。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	経年による老朽化が激しい施設で、景観形成及び環境美化を図るための解体であることから、有効と判断する。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札によって事業費が抑制されており、コストに見合った効果が得られていると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

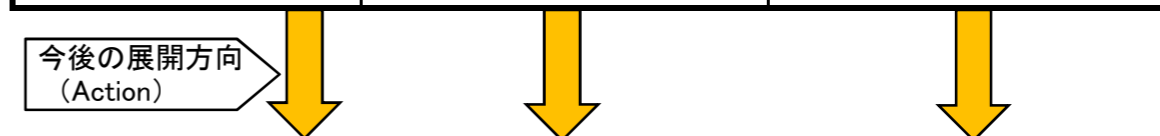
公平	判断の理由	景観形成及び環境美化を図ることを目的とした老朽施設の解体であるため、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
解体工事を行った事で景観形成及び環境美化を図ることができ、今後も計画どおり事業を進めることが適当である。		



継続/現状維持		
住環境を整備するために長期間利用のない老朽施設の解体撤去を実施しており、今後も計画的に事業を進める必要がある。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止